






FP,DCF療法を受ける @PATIENTNAME様の入院診療計画書

年月日	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/
入院経過	入院日	投与日	2日目	3日目~7日目	8日目~退院前日	退院日
達成目標	治療について理解でき、精神的に安定した状態で治療に望むことができる	治療を安全・安心に受けることができる	感染予防の必要性を理解し、感染予防行動を取ることができる			退院後の日常生活の注意点を理解することができる
注射		午前中から点滴を開始します。 5日間持続的に点滴を抗がん剤の点滴を行います。 点滴の内容については別紙を参照して下さい	体重の増加や尿量に応じて必要があれば利尿剤を投与します。			退院後の予定 ・次回受診日 化学療法センター 月 日 曜日 時 分 医師 ※受診前に採血があります 予約時間1時間半までに採血を終わらせて下さい。 次回入院日 月 日 曜日
内服	薬剤師が持参薬の確認をします 			 ご飯が食べられない場合は点滴を行うことがあります。		退院後の療養上の留意点
検査・処置	投与日までに採血があります	・必要に応じて血液検査を行います ・投与日から投与終了日まで体重測定、尿量測定を行います				お薬は忘れずに用法用量を守って内服して下さい
食事 安静度 清潔	常食 院内歩行 入浴可	常食 院内歩行 入浴可	常食 院内歩行 入浴可		いつもより多めに水分を摂取して下さい 	発熱・下痢・咳・息苦しさ等の症状があれば、無理をせず早めにご連絡下さい。 平日外来診察があるとき 8:30~16:50 化学療法センターへ 夜間・休日のとき時間外外来へ 072-683-1221(代) 土1・3 8:30~12:40 消化器内科になります。
注意事項	・看護師より入院生活について説明します ・蓄尿、体重測定の説明をします ・薬剤師から薬の説明をします	・点滴の落ち方が悪くなったり、点滴の入っている所に腫れや痛み・違和感を感じたらすぐにスタッフに知らせて下さい ・体調の変化があれば、すぐにお知らせ下さい。 ・シスプラチンの腎臓への影響を防ぐために点滴し、尿の量を増やして、シスプラチンの排泄を促します ・副作用には以下のものもあります。以下のような症状が出現があれば、早めにお知らせ下さい。 (吐き気や吐くといった症状 食欲の低下や体のだるさ 5FUによる血管炎(治療後にもみられます) ドセタキセルによる関節痛・筋肉痛) ・環境の変化や治療の経過により転倒のリスクが高まります。注意して下さい。				

この入院計画は現時点で予想されるものであり、症状に応じて変更になる場合があります

大阪医科大学附属病院 消化器内科

説明日 / / 看護師長 _____ その他医療従事者

主治医 印 担当看護師 _____ 薬剤師: _____ 栄養士: _____

説明を受けた患者様もしくはご家族様のサイン